

**2026年度(総合型選抜)AO選抜入学試験  
食マネジメント学部「プレゼンテーション方式」講評**

**1. 実施状況**

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
プレゼンテーション方式/ 課題論文型	58	28	17
プレゼンテーション方式/ UNITE Program®型	45	28	13
計	103	56	30

(2) 本入学試験の目的

本入学試験は、食マネジメント学部の学びへの理解度、食科学を学ぶ意欲と問題意識が極めて高く、かつ理解力・思考力・自己表現力・問題解決力・行動力に優れ、食マネジメント学部での学びと実践を積極的に中心となって牽引する役割を担う者を受け入れることを目的としています。

**2. 試験内容**

(1) 第1次選考

■ エントリーシート（課題論文型・UNITE Program®型共通）

A欄…あなたが食マネジメント学部で入学後に学びたいテーマと、この入試を目指すに至った動機を含め、志望理由を記載してください（850字以内）。

B欄…食に関わるマネジメント・カルチャー・テクノロジーのいずれか、あるいはいくつかに関連する事柄について、関心のあるものをテーマとして1つ選び、以下の内容を記載してください（850字以内）。

- ① 上記のテーマを選んだ理由を示したうえで、その内容に関してデータをふまえながら具体的に説明してください。
- ② その事柄に関するあなたの考えを論理的に説明してください。

■ 課題論文

① 課題論文型

「『食 90 億人が食べていくために（サイエンス・パレット）』（John Krebs(著)、丸善出版、ISBN-13：978-4621089415）」（以下、本書）を読んで、以下の2項目についてまとめてください。

ア 本書の内容を紹介する文章を入力してください（600字以内）。

イ 本書から興味を持った2つの章を選び、各章を要約した上で、自分の考えを述べてください（各章700字以内）。

② UNITE Program®型

UNITE Program®で学習した情報もしくは数学の知識が、現代社会を取り巻く食の課題解決などにどのように活かせると考えますか。あなたの考えを論じてください。また、これまでの学習について強調したい具体的な取り組みなどがあれば記載してください（600字以内）。

(2) 第2次選考

■ プレゼンテーション試験（約20分）

食マネジメント学部で学びたいことと活動したいことをテーマに、1人につき10分程度でプレゼンテーションしてください。使用する資料は、予め志願者本人が用意して下さい。参考にした文献

やWEBサイトのURLがあれば、資料の最後に「参考文献」として列記してください。終了後は、本学教員とプレゼンテーションの内容に関する質疑応答を10分程度で行います。

#### ■面接試験（約10分）

出願書類（「エントリーシート」・「課題論文」）をもとに個人面接を実施します。

### 3. 出題の意図

#### (1) 第1次選考

エントリーシートでは、本学部での学びへの意欲、食に関する問題意識のあり方、率先自律して努力する姿勢、基礎的学習能力を把握することを意図しています。

「①課題論文型」の課題論文は、主として本学部の教育内容に対する理解、食に関わる幅広い知的好奇心と問題意識、論理的な思考力に加え、それに基づく問題解決力と自己表現力を測ることを意図しています。「②UNITE Program®型」の課題論文は、UNITE Programで学んだ情報もしくは数学の知識の応用力や、食に関わる好奇心と問題意識、論理的な思考力を測ることを意図しています。また、どちらの型においても、字句の用法や統計資料の利用の適切さ等からも、基礎的学習能力を把握することを意図しています。

#### (2) 第2次選考

プレゼンテーション試験と面接試験では、本学部の教育内容に対する受験者の基礎的理解の有無や、論理性、説得性、将来性、行動力を確認することを意図しました。また、エントリーシートと課題論文に関する質問への応答から、学習意欲、問題意識、コミュニケーション力を把握することを意図しました。

### 4. 評価のポイント

#### (1) 第1次選考

エントリーシートでは、大学入学後の本学部における学びに対する意欲や、食に関する諸問題への関心、これまでの積極的な活動内容等を評価しました。課題論文では、内容の論理性・説得性・独創性及び語句・漢字、統計データや参考文献が正しく使用されているか等を評価するとともに、自身の問題関心につなげて説明できていることや、本学部での学びに結びつけて説明できているかについても確認をしました。

#### (2) 第2次選考

プレゼンテーション試験では、テーマに基づいた内容でプレゼンテーション資料の作成や、口頭発表ができているかを確認し、プレゼンテーションが論理的かつ説得性を持ってできているか、将来の学びに結び付けた発表ができているか、積極性・行動力を有しているか、的確に質疑応答ができているかなどを評価しました。

面接試験では、エントリーシートや課題論文をもとに、食科学を学ぶ意欲や問題意識の高さ、本学部での学びと実践を積極的に中心となって牽引する役割を担ってもらえるかなどを評価しました。

### 5. 解答状況

#### (1) 第1次選考

エントリーシートは、本学部を志望する理由を、これまでの自身の経験や体験、将来の夢や目標を踏まえて回答する内容が多く見られました。自らの具体的な経験等を本学部への入学意欲につなげて記述できているものが高く評価される傾向にありました。また、「①課題論文型」の課題論文については、課題図書のと要約と受験生の考えの間に論理的な整合性を見出すことができるものが高く評価されました。「②UNITE Program®型」の課題論文については、学習したことを理解し、現代社会を取り巻く食の課題解決などにどのように活かせるかを具体的に記述できているものが高く評価されました。

## (2) 第2次選考

プレゼンテーション試験では、資料に基づいて時間内に首尾一貫してわかりやすく伝えることができ、また、将来学びたいことや活動したいことが具体的に説明できている内容が高く評価されました。

面接試験では、本学部の学びと実践において、将来中心となって他の学生を牽引する役割を担ってもらえることが何え、そのために必要な積極性や行動力を持ち、また質疑の受け答えがきちんとできている場合に高く評価される傾向にありました。

## 6. 次年度の受験生へのアドバイス

第1次選考については、エントリーシートでは、本学部の特性や学びのあり方をしっかり理解した上で、自分が4年間で学びたいことや探求したいことをアピールしてください。自身の経験や体験を紹介することは大切ですが、それがいかに大学での学びや探求していく課題と結びつくのかを記述してください。自分の言葉で、できるだけ具体的に自身のことを最大限にアピールしてください。「①課題論文型」の課題論文では、課題図書を読みしっかり理解した上で、ポイントを掴んで整理しましょう。さらにエントリーシートに記載した自身の経験や体験を結びつけて説明してもよいでしょう。課題図書から読み取ったことと、そこから自分自身が感じたり、考えたり、解決したいと思ったことについての記述は区別をつけてわかりやすく書いてください。「②UNITE Program®型」の課題論文では、UNITE Programで選んだ情報もしくは数学の学びについて、なぜそれを選んだのか、それがどのように現代社会を取り巻く食の課題解決などに繋がると考えるのかを自分の経験と関連づけながら書いてください。そして、これまでの学習や活動について強調したいことは、自分の言葉で、できるだけ具体的に自身のことを最大限にアピールしましょう。

第2次選考については、AO選抜入試の意図をよく理解した上で試験の準備をしてください。プレゼンテーション・面接では、本学部で生き活きと学び、将来に活かしていける学生を見出そうとしていますので、皆さん自身のやりたいこと、学びたいこと、自身の食に対する考え方等を自分の言葉でわかりやすく示してください。

以上